

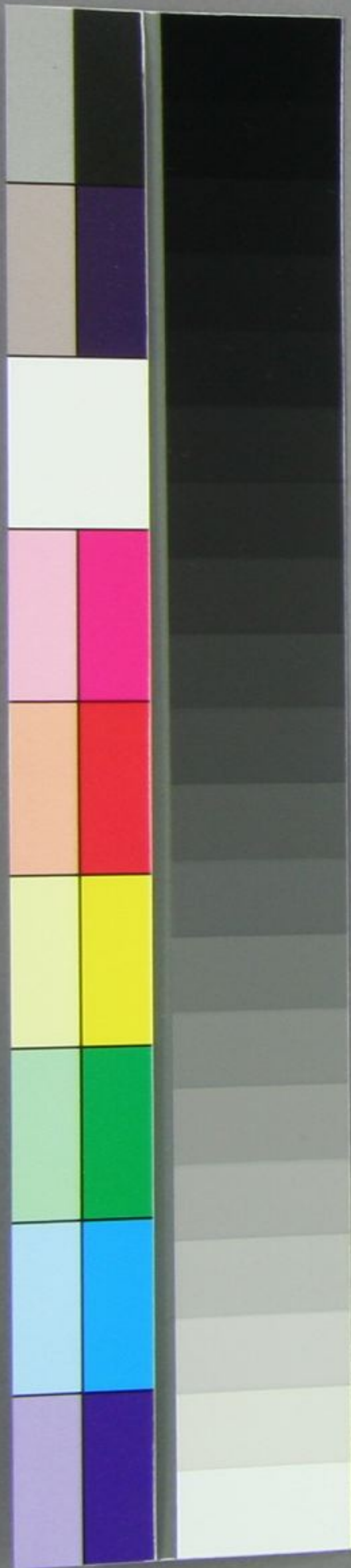
青山學院寄宿舎用箋

願はくは我の父の神よお喜びよ主キスエトスリよ恩寵を康平に受けよ

謹啓

名取申す。きよき新刊の小報
請、此書閣下の心算祝と掲載
す。は考をそ再び心算す。いつと
押穂及び文の談話の二部と尋
江及び、主の健忘性あり。要
候と運脱及び、は必踪を在
王。し。身。并。之。を。閣。下。の。心。算。と
を。同。心。中。に。お。し。て。心。の。算。中。に。お。し。

Grace be unto you, and peace from God our father, and from the Lord Jesus Christ. Cor. 1.3.



青山學院寄宿舎用箋

願はくは我の儕の父なるお神よび主イエスキリストよに恩寵を蒙りて康平に受けよ

父の御子に
御恩を蒙りて
御心遣はし
御心遣はし

青山學院

二十五年

石井信也

大隈家執事印

青山學院寄宿舎用箋

願はくは我の儕の父なる神よおまじきスリキスエ主よと恩寵を康平よけ

青年の對する希望

水戸學派の由依の國史の編纂せしむたるを
 以て天下勤王の志勃興し英雄割據の餘孽た
 り封建の制度は歸せしむ破綻し是と同時に
 徳川幕府三百年來鎖國の國是は茲に一
 変し維新の大改革を執行するに至りしは
 事昨今の如くと思ひし識者も何時も
 四十星霜を歴せんとして
 當時紅顏の青年なりし余輩も今や已に白
 髮耳順の境を越せ候て過去半世紀間
 於ける我が國は如何なる状態ありしと更
 又此の間欧米列國の形勢は如何なる變遷し來
 りたるは是將來半世紀間於て戰國の後を

青山學院寄宿舎用箋

願はくは我の儕父の神よお主びよスリキスエトよ恩寵を平康を受けよ

受け東洋百族の經綸を同共せざるべからざる
 現代青年の自己の双肩あり、重責を知ると
 共に明知を要する事柄に屬す
 余輩の看察を以てすれば、過去軍を紀國に於ける
 我の國の状況は、政米列國の伍律多るを得ん
 為めの準備例を以て云はば、吾人の社屋に於ける
 の前に於ける、修學時代と齊しきもの、ぬくあふぞ
 りしや
 政米文學、法律、技藝、軍備、教育、文學、風俗、
 至るまで、泰西の文物を以て標準とを、改と改し
 して是の模倣したるは、勿論國民の思想界に至
 るまで、政米學者の言論に依つて、支配せられた
 るやの傾きありたりし、然し、修學時代

Grace be unto you, and peace from God our father, and from the Lord Jesus Christ. Cor. I. 3.

青山學院寄宿舎用箋

願はくは我の儕の父なるお神よび主キスリトよ思籠る平康を受けよ

子たるもの其師傳の言行の刻記せしむるべきは
 寧ろは此の浩果子として敢て怪むる足らざる
 然るは日本民族の四十年來の修學の計一今
 や一大試驗の課せられたると云ふは他にあるが日
 露戰爭其ものなり吾人は以て試驗に於て及落を
 決せざるやとす 吾界の列強國民と比肩する
 べきものなり又此の計を以て吾等胆をふるま
 ふさるるも五千万民族の眞實は此の一擧に決せし
 ず
 昨年より直戰の報載あつてより以來少くも一
 歳の間に於て皇軍連勝の勢を以てさうが民
 族と滿韓の境外に駆逐し去らんとす此の成績
 は依つて見ても吾等の大勢既に此のありしにあ

Grace be unto you, and peace from God our father, and from the Lord Jesus Christ. Cor. I. 3.

青山學院寄宿舎用箋

願はくは我の儕の父なる神よお喜びよ主イエスキリストよ思ひ籠るる康平を受けよ

り吾人の干戈の戦争に於ける全勝は全軍
 疑を置かず一語を横て言ふは謀り下りたる試
 験の一部は慥らうと及せし
 されど干戈の勝利は未だ以て日露問題全
 局の勝利とトするに足らざるは日清戦争
 の先例に鑑みざるべし、我々の出征の存心は
 如何なる武絶倫ありと雖も我々の国民として
 は勃興する氣運に誇り大なる者あり、其の決
 心なくばは赫々たる戦勝も只此れ草花一朝
 の栄に終るに過ぎず、其の決意は如何そや滿韓
 の討つる戦後の経営なる全軍従ふに後畧
 主義を以てするものあり、こゝりして又滿韓の事
 は對岸視せんとすらふものあり、大に我々の國

Grace be unto you, and peace from God our father, and from the Lord Jesus Christ. Cor. I. 3.

青山學院寄宿舎用箋

願はくは我の儕の父なる神よお主びよスリキスエトよ思寵を平康をよけ

民の同種族たる情韓民と親和し彼を利し
信じて付と利するの策を盡せざるべからず
茲に於て余輩は今日の青年別けて中等
高等の教育を受けたる又は現に受けつゝある
予の学生諸子に向つて大に希望を屬せざるを
得ず靦眴青年の意氣銷沈して甚く揚
ぶざるの如きものあるを見るは吾輩の俾く憂
ふる所あり何ぞ徒らに小心冀々たるや奮然
起つて以て隣境未開の山野を開拓し同胞幸
福の門戸を開きざらんや縦令清韓民族を同
化しと齊しく東洋文明の民たらしむるは困
難なる業ありとすべし大は是れ今日の青年
たるもの存つて居ざるべからざるを憂ふ所あり

Grace be unto you, and peace from God our father, and from the Lord Jesus Christ. Cor. I. 3.

青山學院寄宿舎用箋

願はくは我の儕の父なる神よお主びよスエキスリトよ恩寵を康平よけよ

疑ふも、
 了りや存考の才と、
 地球の一小部分たる故国との恋を
 大陸の蒸着衰頹は之を顧みざるもの
 如きは之を二十世紀の時運を知らざるもの
 試み思ふ今日の世界の大勢は如何なる現象を
 呈しつゝあるか、
 日耳曼聯邦の政策を畫し、
 獨り帝國の建造
 を見し、
 政治各國の思想界に一大變動を
 来し急激なる帝國主義の發展となり、
 餘勢は
 流して未國をまた及び、
 事實上建國以來
 の國是たるモ、
 主義を捨て、
 今や帝國

青山學院寄宿舎用箋

願はくは我の儕の父なるおよび主イエスキリストよ思ひよに康平をよき受

主基督の渦中に陥つてある世にこそマツキシヤ
 ルーエベルト等の勢力を得たるを徴し、
 明らかりき加え、今や漸く米國を其
 の軍備を擴張し、
 古の明文たる、
 古の明文たる、
 て全く米國人の思想を告げ、
 教へ、
 家として文豪たるトルストイは、
 又、
 の破産し、
 息を絶つてあつたりや
 時運の暫く、
 口サリシ、
 民族と擗担折

Grace be unto you, and peace from God our father, and from the Lord Jesus Christ. Cor. I. 3.

青山學院寄宿舎用箋

願はくは我の儕の父なる神よお主びよスリキスエトよ思ひ籠るに平康を授けよ

衡一外に在つては四億の民命を擁護せよ

ハコト

總て内部の状況は如何に厳らばも二十億の巨債は眼前に横はり五億を無くたす租税の負担は停来に於て償付せざるべし其の事内外の事情今日の如くあるは新国歴史ありてとり以事未だ見えざるなり今こそ国民の意旨は戦争に熱汗あはせてた記の苦痛も感せざるものやくなるに其時局の平和を望むると同時に其の疲乏は愈々感せざるを望む人之如く是の策は充分の注意を以て国民の講せざるべし其の若し不幸にして一歩を誤れば邦家の前途は累卵の危

8

青山學院寄宿舎用箋

願はくは我の儕の父なる神よおまじよスリキスエトヨ思籠るに平康を受けよ

この歎せん吾の國一致は我の國將來に對して
必要あり用語あり
決りし一語を附記して云はし今日は是ハ分二
の維新なり二四五百年來一孤島に在りて
世界の歴史に未だ其名を著せざりし日本民
族の一大飛躍を以て各國の地位を列するの
時なり我の青年諸子は滿韓七國の民に對
し一國の惡運を以て義侠とを以て奮然起
ちて滿韓の野に徬徨し我を愛する同胞の
白骨と埋めたる墳墓の地を守らば事を
希望するに已まざるものあり
余輩感するを以て 戦世開國五十年史を編
纂せしむるに其の各國を以て其の國情を

Grace be unto you, and peace from God our father, and from the Lord Jesus Christ. Cor. I. 3.

青山學院寄宿舎用箋

願はくは我の儕の父なるお主よにキリストによつて思ひ籠るる平康を受けよ

運せらるるものと共なる青年諸子の責任の極
る事と覺ふるに人のあめり余輩の向ふ事は今
毎に書きたるに彼は不り著作のありを待つて
一讀せしむる事を希望す今は一語の報告を
及する者めし

Grace be unto you, and peace from God our father, and from the Lord Jesus Christ. Cor. I. 3.



牛込区早稲田
 松野大隈家執事
 市東



織

青山学院内

石井佐助

